

3 S 奮闘記

No. 2

前回は、3 S活動の目的や3 S活動とは何かを書かせて頂きました。今回は、弊社の具体的な3 S活動内容について書かせて頂きます。まず初めに、弊社は3 S活動の第一歩として整理作業を行いました。整理作業を行うにあたって、要るモノと要らないモノを判断する基準を作りました。弊社の基準は、下記のとおりです。

生 : 1ヶ月以内
休 : 1ヶ月～6ヶ月以内
長休 : 6ヶ月～1年
死 : 1年～

上記の基準に沿って、事務所・工場のモノを分けました。また、長休・死のモノは事務所・工場内には置かないように決めました。そして、不要なモノは全て廃棄しました。

その結果、これだけの廃棄物が出ました。



4 tの入れ物に、溢れるくらいの廃棄物が出ました。こんなに不要なモノが、事務所や工場の中にあっただかと思うと恐ろしいです。下の写真の左が整理前の工場です。右が整理後の工場です。見えにくいですが、左の写真の一番右奥の機械も廃棄しました。



このように紹介すると、簡単に廃棄するモノを決め廃棄したように見えます。しかし、弊社もこれだけのモノを廃棄するには、全員で話し合いを行い決めていきました。そして、最後は社長の捨ててしまおうという言葉で、これだけ廃棄しました。これが、社内改革の第一歩でした。この左上の写真は、今でもたまに見ます。「もう、この状態には戻りたくない」と見る度に思います。整理作業の後、どのように変わっていくのかを次回掲載させて頂きます。